

東御市総合交流促進施設（梅野記念絵画館・ふれあい館）運営委員委嘱式

令和5年度東御市総合交流促進施設（梅野記念絵画館・ふれあい館）運営委員会会議次第

日時：令和5年11月22日（水）午後14：30～

場所：梅野記念絵画館・ふれあい館

1 開会

2 委嘱書交付

3 市長挨拶

4 運営委員会の役割について

5 役員の選任

会長 _____

副会長 _____ 副会長 _____

6 市長からの諮問

- ・「令和5年度寄贈作品（案）」について
- ・「令和6年度事業計画（案）」について

7 報告事項

- (1) 令和4年度事業実績について 資料1（P1～P4）
- (2) 令和5年度事業取組状況について 資料2（P5～P7）
- (3) 梅野記念絵画館運営課題について 資料3（P8～P12）
- (4) 東御市梅野記念絵画館収蔵品収集方針（案）について 資料4（P13～P14）

8 審議事項

- (1) 「令和5年度寄贈作品（案）」について 資料5（P15～P16）
- (2) 「令和6年度事業計画（案）」について 資料6（P17～P20）

9 答申

10 その他

- ・令和7年度以降の事業計画について 資料7（P21）

11 閉会

(1) 令和4年度事業実績について

令和4年度 東御市総合交流促進施設事業

《事業総括表》

月	常設展	大展示室	ふれあい館	ホール	
4月	梅野コレクション展Ⅰ (玉村方久斗、谷中安規)	4月9日～6月5日 館所蔵品精選展 令和3年度新規収蔵作品 を含めて	4月9日～6月5日 はらぺこめがね展 楽しや食事	4/15-16 はらぺこめがね公開制作 4/17 はらぺこワークショップ・ ナイトミュージアム 4/30 はらぺこコンサート	
5月				5/29 にくのこと	
6月	梅野コレクション展Ⅱ (栗原忠二、チャールズ ズワーグマンJr)	6月18日～8月28日 第21回私の愛する一点展	6月18日～8月28日 もう一度観たい私の愛 する一点展		
7月				7/14 ナイトミュージアム	
8月				8/12 ナイトミュージアム	
9月	梅野コレクション展Ⅲ (相吉沢久、酒井亜 人)	9月10日～11月27日 夢の造形化 伊藤久三郎の世界	9月10日～10月16日 東信濃工芸作家展 vol.07	9/10 伊藤久三郎 オープニング レセプション 9/19 東信濃工芸作家展 オープ ニングレセプション	
10月				10/1 東信濃工芸作家展 ワーク ショップ	
11月				10月29日～11月27日 堀田光彦展 Empathy	11/8 ナイトミュージアム
12月				収蔵庫整理期間	12月10日～1月22日 市民ギャラリー
1月					
2月	梅野コレクション展Ⅲ	2月4日～3月26日 荘司貴和子展vol.02	2月4日～3月26日 市民ギャラリー		
3月				3/7 ナイトミュージアム 3/12・26 神崎遥香WS	

「展示事業」

ア 常設展・コレクション展

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)
4月～6月	梅野コレクション展Ⅰ	玉村方久斗・谷中安規	
6月～8月	梅野コレクション展Ⅱ	栗原忠二・チャールズワグマンJr	
9月～1月	梅野コレクション展Ⅲ	相吉沢久・酒井亜人	
2月～4月	梅野コレクション展Ⅳ	相吉沢久・菅野圭介	

イ 展示室

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月9日 ～ 6月5日	館所蔵品精選展 令和3年 度新規収蔵作品を含めて	令和3年度に寄贈・寄託いただいた作品を中心に、絵画館のコレクションから精選した作品を展示。	1,410	49	29
6月18日 ～ 8月28日	第21回私の愛する一点展	梅野記念絵画館友の会の会員が、めぐりあいの喜びや作品に寄せる思いを伝えるため、年1回所有する作品を持ち寄って展示する公募展覧会。	764	67	11
9月10日 ～ 11月27日	夢の造形化 伊藤久三郎の世界	昭和61(1986)年に偶然、梅野隆が伊藤久三郎の作品を見ることで”再発見”された。菅野圭介と並び梅野コレクションの中核となっており、伊藤の後半期の作品を中心に展覧する。	863	67	13
2月5日 ～ 3月27日	荘司貴和子展vol.02	平成25年に荘司貴和子展を開催し、平成28年には57点の荘司作品が当館に寄贈された。当館の所蔵作品の主軸となる作家の一人となっており、令和3年度～4年度の2回にわたり展覧会を行う。	420	44	10
			3,457		

ウ ふれあい館

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月9日 ～ 6月5日	はらべこめがね展 楽しや食事	「食べ物と人」をテーマに幅広く活動している絵本作家、原田しんや、関かおりの夫婦イラストユニットはらべこめがねのアートワーク展。東御市の農産物を彼らのアートワークと共に紹介。東御市の食文化に美術館からアプローチし、地域の子どもたちと一緒に地元の食文化の再発見を試みた。	1,410	49	29
6月18日 ～ 8月28日	もう一度観たい私の愛する 一点展	第1回から20回までの私の愛する一点展の出展作品の中でもう一度観たい作品を展示。	847	67	13
9月10日 ～ 10月16日	東信濃工芸作家展	市内在住の陶芸作家角りわ子氏を中心に、地元を拠点に活動する作家の存在や作品を知ってもらおうと始まった展示会。今年度は木工作家を中心に展覧。	1,001	32	31
10月29日 ～ 11月27日	堀田光彦展 Empathy	地域おこし協力隊として活躍した彫刻作家堀田光彦の展覧会。3年間の協力隊活動の成果と鍍金作家としての作品を展示する。	348	25	14
			3,606		

「その他関連事業等」

ア 展示関連事業

企画展名	実施日	事業名	内容	参加者 (人)
はらべこめがね展 楽しや食事	4月15.16 日	公開制作	2m×3mのキャンバス地にはらべこめがねが東御市に滞在中に食べた食事をモチーフにした作品を美術館で公開制作。	110
はらべこめがね展 楽しや食事	4月17日	ワークショップ	はらべこめがねオリジナルはらべこペーパーをちぎって段ボールに貼って、オリジナルお弁当を制作。	31
はらべこめがね展 楽しや食事	4月30日	コンサート	テレビドラマ深夜食堂でおなじみの福原希己江さんによるおいしい食べ物の歌を中心としたコンサートを開催。	37
はらべこめがね展 楽しや食事	5月29日	食育イベント	東御市若手農業者と食肉についての食育講話や仔牛のスケッチ大会、アーティストによるライブ等実施。	61
夢の造形化 伊藤久三郎	9月10日	オープニング レセプション	美術史家 天野一夫氏をゲストに迎え、大竹館長とのクロストーク。	12
東信濃工芸作家展	9月19日	オープニング レセプション	建築家 中村好文氏をゲストに迎え、出品作家谷進一郎氏とのクロストーク。	45
東信濃工芸作家展	10月1日	ワークショップ	出品作家によるワークショップ 2ブース	18

イ ホール活用事業

実施日	事業名	内容	参加者 (人)
【中止】 本人体調不良により	小山菜穂子朗読会	元テレビ信州アナウンサー小山菜穂子氏による朗読会	
3月12日	ワークショップ	元地域おこし協力隊神崎遥香氏による鍔金の小皿づくりワークショップ	8
3月26日	ワークショップ	元地域おこし協力隊神崎遥香氏による土人形絵付けワークショップ	9

ウ 図録等

図書名	内容	発行部数
夢の造形化 伊藤久三郎	夢の造形化 伊藤久三郎 図録	500

エ 収蔵品の貸出実績について

期間	作家名	貸出先	展覧会名	点数
7/30～ 10/16	青木繁	アーティゾン美術館	ふたつの旅 青木繁 坂本繁二郎	4点
10/29～ 1/22	青木繁	久留米市美術館	ふたつの旅 青木繁 坂本繁二郎	4点

「入館者数・入館料実績」

ア 入館者数・入館料

R 4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数 (人)	595	724	175	298	138	495	642	354	53	56	157	577	4,264
入館料 (千円)	147	200	45	45	44	81	117	104	13	18	28	58	899

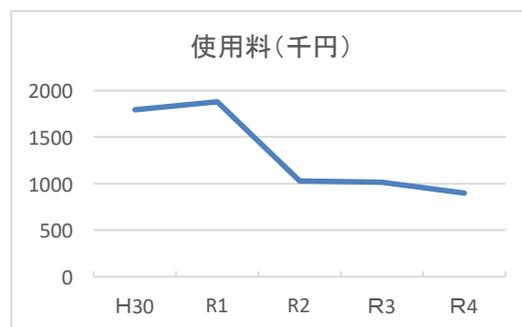
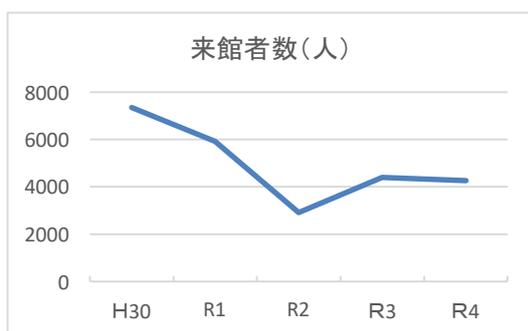
※入館者数は鑑賞目的にて来館した人の数を集計

イ 過去5年間の推移

区 分	H30	R1	R2	R3	R4	前年比
開館日数 (日)	258	251	221	209	242	116%
来館者数 (人)	7,357	5,931	2,913	4,396	4,264	97%
内訳： 一般	1,890	2,176	1,414	1,524	1,404	92%
小中学生	310	319	44	343	377	110%
割引	308	114	171	97	141	145%
会員	922	863	467	655	561	86%
招待減免	1,308	492	313	648	544	84%
喫茶	339	248	251	91	290	319%
その他 (ふれあい館含む)	2,280	1,719	253	1,038	941	91%
使用料(千円)	1,794	1,881	1,029	1,016	899	88%

※使用料にはその他収入が含まれます。

ウ 過去5年間の来館者、使用料(入館料)の推移



(2) 令和5年度事業取組状況について

令和5年度 東御市総合交流促進施設事業計画

《事業予定表》

月	常設展	大展示室	ふれあい館	ホール
4月	梅野コレクション展Ⅰ (青木繁・菅野圭介 他)	4月8日～6月11日 館所蔵品精選展	4月8日～6月11日 Replicant —食卓のかたち—	
5月				5/6 ナイトミュージアム 川合愛美ピアノコンサート 5/7 Replicant展 ピザ作りWS
6月	梅野コレクション展Ⅱ (杉浦非水・横井弘三 他)	6月24日～8月27日 第22回私の愛する一点展		6/4 ナイトミュージアム 越敬一&竹内遥香デュオ コンサート
7月				
8月				8/2 ナイトミュージアム 竹内遥香&外山賀野 デュオコンサート 8/22 ナイトミュージアム
9月	梅野コレクション展Ⅱ (伊藤久三郎・中村忠 二他)	9月9日～11月26日 All is vanity. 虚無と孤 独の画家—山本弘の芸術	9月9日～10月15日 東信濃工芸作家展vol.8 「器」様々な器、入れ ものたち	9/9 All is vanity. 虚無と孤独 の画家—山本弘の芸術 オープニングレセプション &トークイベント 9/29 ナイトミュージアム 竹内遥香&丸山京子 デュオコンサート
10月				10/1 東信濃工芸作家展 鑄金WS、絵付けWS 10/15 クロージングトークイ ベント 10/29 ナイトミュージアム 三井由香琴コンサート
11月				
12月	収蔵庫整理期間			
1月	梅野コレクション展Ⅲ	1月13日～3月10日 上田クロニクル 上田小県洋画史100年の 系譜		1/26 ナイトミュージアム
2月				2/24 ナイトミュージアム
3月				

「展示事業」

ア 常設展・コレクション展

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)
4月～6月	梅野コレクション展Ⅰ	青木繁・菅野圭介	
6月～8月	梅野コレクション展Ⅱ	杉浦非水・横井弘三	
9月～1月	梅野コレクション展Ⅲ	伊藤久三郎・中村忠二	
2月～4月	梅野コレクション展Ⅳ		

イ 展示室

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月8日 ～ 6月11日	館所蔵品精選展	絵画館のコレクションから精選した作品を展示。	1,095	65	17
6月24日 ～ 8月27日	第22回私の愛する一点展	梅野記念絵画館友の会の会員が、めぐりあいの喜びや作品に寄せる思いを伝えるため、年1回所有する作品を持ち寄って展示する公募展覧会。	831	65	13
9月9日 ～ 11月24日	All is vanity. 虚無と孤独の画家—山本弘の芸術	青年期を戦中戦後の時期に過ごし、幾度も自殺を試み、過度の飲酒で手足が動かなくなりながらも絵を描き続けた孤独の画家山本弘の展覧会。公立美術館での初の単独での回顧展。			
1月13日 ～ 3月10日	上田クロニクル 上田小泉洋画史100年の系譜	戦前の山元鼎からつながる上小地域の文化の歩みを数々の作家や作品を通して紹介し、地域の美術史をアーカイブし、時代に残す試みの展覧会。			
			1,926		

ウ ふれあい館

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月8日 ～ 6月11日	Replicant-食卓のかたち-	現代社会を背景とした「食」をテーマに、食品サンプルの創作を通してアイロニカルに表現を行う作家札本彩子の展覧会。作品を通して、社会への問いかけや現代人への食への関わり方について見るものに語りかける。	1,095	65	17
9月9日 ～ 10月15日	東信濃工芸作家展vol.8 「器」様々な器、入れものたち	市内在住の陶芸作家角りわ子氏を中心に、地元を拠点に活動する作家の存在や作品を知ってもらおうと始まった展示会。今年度は器をテーマに様々な技法の作家10名の作品を展示。	1,095	30	37
			2,190		

「その他関連事業等」

ア 展示関連事業

企画展名	実施日	事業名	内容	参加者 (人)
Replicant -食卓のかたち-	5月7日	造形ワークショップ	作家と一緒にほんものそっくりなピザを樹脂粘土で制作。	44
All is vanity. 虚無と孤独の画家—山本弘の芸術	9月9日	オープニングレセプション&トークイベント	山本弘の弟子である曾根原正好氏と大竹館長によるトークイベント。	65
東信濃工芸作家展 「器」様々な器、入れものたち	10月1日	鑄金ワークショップ	コンロで溶かせる金属・錫で簡単鑄物の小皿作り。	9
東信濃工芸作家展 「器」様々な器、入れものたち	10月1日	絵付けワークショップ	素焼きの小鉢に呉須で絵付けしてオリジナルの小鉢を制作。	14
東信濃工芸作家展 「器」様々な器、入れものたち	10月15日	クロージングトークイベント	展覧会出展作家10名が一堂に会し、それぞれの作品について語る。	31

イ ホール活用事業

実施日	事業名	内容	参加者 (人)
5月6日	ナイトミュージアムコンサート	川合愛美氏によるピアノソロコンサート。	31
6月4日	ナイトミュージアムコンサート	越敬一氏と竹内遥香氏によるギター&ハーブデュオコンサート。	46
8月2日	ナイトミュージアムコンサート	外山賀野氏と竹内遥香氏によるチェロ&ハーブデュオコンサート。	47
9月29日	ナイトミュージアムコンサート	丸山京子氏と竹内遥香氏によるハーブデュオコンサート。	50
10月29日	ナイトミュージアムコンサート	三井由香氏による琴ソロコンサート。	56
1月26日	ナイトミュージアムコンサート		
2月24日	ナイトミュージアムコンサート		

ウ 図録等

図書名	内容	発行部数
All is vanity. 虚無と孤独の画家—山本弘の芸術	山本弘展 図録	500

エ 収蔵品の貸出実績について

期間	作家名	貸出先	展覧会名	点数
2/19~ 4/16	陽咸二	宇都宮美術館	陽咸二展 混ざりあうカタチ	2

(3) 梅野記念絵画館運営課題について

「梅野記念絵画館」地域の連携・経営管理の検討

ア 設置、運営の状況

1) 総合交流促進施設（梅野記念絵画館）

①設置状況（設置条例より）

- 設置 ・目的 市民の交流、文化活動の高揚、コミュニティの多目的活動に寄与する
・施設 梅野記念絵画館、ふれあい館
- 事業 ・美術品等の収集、展示
・美術に関する調査研究及び、講演会、講習会の開催
- 開館 9時30分～17時
- 休日 月曜日、国民の祝日の翌日、12月28日～翌年1月4日

イ 絵画館等と地域の連携

1) 地域社会との連携

- 【課題】 地域社会とどのようなかかわりをもって、どのように共生していくかが課題である。
- 【検討方針】 ふれあい館活用検討会を開催し、ふれあい館を活用した地域との連携策を模索する。
- 【検討経過】 平成30年度～平成31年度にかけ3回の検討会を開催し、3つの方針（案）を策定。
- 【取組方針】 本来の「地域の交流の場」という施設の活用目的を元に ①地域コーディネート ②若年層への訴求 ③普及事業の3つの方針のもと活用する。

2) 周辺施設との連携

- 【課題】 本施設は、芸術むら公園の中にあり、様々な年代の利用がある。実施されるイベントや周辺施設や企業とタイアップすることで、訪れる目的が増え、来館者も増えることが見込むことができ、具体的な連携策が必要である。
- 【検討方針】 地域づくり支援室を中心に芸術むら公園にぎや会議に参加し、エリアマネジメント視点で、芸術むら公園関連施設との具体的な連携策を模索する。
- 【検討経過】 令和2年9月の第一回会議に参加し、地域の方々等ステークホルダーと課題の洗い出しと共有を行った。コロナ渦で以降会議は開催されていない中、本年度庁内の関係課による会議が開催された。
- 【経過】 わざわが展開する公園内カフェの間 tou といとう写真館出張撮影会 2022 を共催し、会場の一部提供等で協力を行った。（令和4年度）

3) 丸山晚霞記念館との連携（新）

- 【課題】 東御市には美術館が二つあるが、梅野記念絵画館はここだけで完結している。丸山晚霞記念館には、子どもたちとのワークショップや学校との関わりなどの個性があるため、連携を行うなど東御市に美術館が二つあるメリットを活かす必要がある。（令和4年度運営委員会前澤委員より）
- 【検討方針】 丸山晚霞記念館で実施してきた教育普及事業が、今後は美術館単独の事業ではなく、文化スポーツ振興課の事業として転化していくため、両館が事業に関わる体制

を検討する。

- 【経過】文化スポーツ振興課の教育普及事業として、梅野記念絵画館及び丸山晚霞記念館の収蔵作品を用いた鑑賞ワークショップ等を実施。また、これまで丸山晚霞記念館が行なってきた学校ワークショップへの学芸員の参加など、学芸員同士の連携に向け活動を行っている。

ウ 絵画館等のマネジメント

1) 学芸員の能力向上

- 【課題】各地の美術館ではマネジメントや効率化が求められている中で、本市の絵画館等においても、研修等により学芸員の能力を高め、豊かな個性と付加価値をつけていくことが必要である。展示のスキルを上げるべきである。(令和3年度運営委員会三澤委員より)
- 【検討方針】学芸員の雇用、育成方針について検討する。
- 【取組方針】学芸員のシンビズムへの派遣により、学芸員の能力を高める。
- 【経過】館長のシンビズムへの参加。

2) マーケティングの重要性

- 【課題】厳しい財政運営が続き、公共施設の再編や統合も考えられる中、いかにすると美術館のサービスを多くの方々に利用してもらうことができるかをマーケティング手法により計画性し実行することが必要である。
- 【検討方針】アンケート、SNSの活用、ターゲットを絞る等マーケティング計画について検討する。

2) マーケティングの重要性 - 2 (新)

- 【課題】梅野記念絵画館としてInstagramを開設すべき。今の時代、ホームページよりもInstagramで情報を得ている人が多い。美術館の企画をInstagramで発信し、人々へ広報できればと思う。(令和4年度運営委員会角委員より)
- 【検討方針】美術館でのSNS発信の制度について検討する。
- 【取組内容】令和4年度11月に梅野記念絵画館のInstagramを開設。展覧会のお知らせや展示室の様子、イベント情報などについての発信を行なっている。

3) 開館日、時間、使用料などの柔軟性

- 【課題】来館者の増加を図るため、開館時間を、季節や展覧会に応じて変更することや、開館日、企画展に合わせた観覧料の調整等、一定のルールに柔軟性を持たせることが必要である。入館料の検討とともにその具体案として入館パスポートについて検討してもらいたい。
- 【検討方針】開館日、時間、使用料は条例定め事項のため、見直すべき条文を洗い出し、改正を検討する。
- 【取組内容】令和2年度より満月の日に延長開館を行うナイトミュージアムを開催している。絵画館のロビーの窓から見える、月の光が映し出す浅間山の稜線や明神池に映る月の美しさをPRし、異なる切り口からの来館者増を目指したい。
令和5年度はナイトミュージアム開催日にスペシャルコンサートを実施。異なる切り口として音楽ファンの来館者増を目指した。
- 【経過】使用料については、令和3年度条例改正を行った。常設展示300円(200円)、特別企画展はその都度定める規定を加えた。入館パスポートについては引き続き検討する。

4) 企画展の在り方

- 【課題】梅野記念絵画館における企画展は物故作家を中心に、埋もれた作家を掘り起こし、顕彰することを趣旨としており、今後も館の個性を維持する重要なテーマである。

一方地域の美術館として、地域に焦点を当てる企画を実施し、この双方を両輪に館運営をする必要がある。

- 【検討方針】 数カ年計画の中で地域やコストパフォーマンスを意識した企画展の開催を検討していく必要がある。
- 【検討経過】 ふれあい館を活用し、地域との連携や関わりを模索する。また、ふれあい館を地元の人に活用していただくために貸館規定を条例に盛り込むことを検討する。
- 【取組内容】 令和2年度はGWに地域の子どもたちに向けた絵本の原画展や私の愛する一点展と連動させ、生活の中に美を取り入れることを地域に提案する展示、地元作家の展示、東信濃工芸作家展を火のアートフェスティバルの時期に合わせ、工芸のお祭りとして地元と共に盛り上げていくことを狙いとする等、地元を意識した企画をふれあい館の企画として盛り込んだ。
令和3年度も同様の方向性でふれあい館での展示内容を実施した。また、ふれあい館を地元の人に活用していただくために令和3年度に貸館規定を条例に加えた。
令和5年度については火のアートフェスティバル開催時に、東信濃工芸作家展出展作家の作品を購入することのできるブースを出店し、芸術むら公園でのイベントとの連携を行なった。

5) 収集・保存事業-1

- 【課題】 梅野記念絵画館を地域の方々に身近に感じていただくために、絵画館が持つ多くの情報を市民と共有すべきである。
- 【検討方針】 収蔵品情報や取得作品について積極的な情報提供の制度を検討。
展覧会企画へのスポンサー契約及び、メセナ等の複合型運営を検討。
- 【取組内容】 必要な情報を提供するためのプラットフォームの整備として、令和2年度にホームページを改修した。現在、館の主要作品である青木繁、菅野圭介、伊藤久三郎、荘司貴和子、今西中通の作品情報についてデジタルアーカイブ化事業を実施、HPで公開中。(令和2年度)。他の主要作家についてもデジタルアーカイブ化を検討中。また、以降も総務省が推進するデジタルアーカイブ化への着手を検討。

5) 収集・保存事業-2

- 【課題】 建物が築20年以上経過し、空調設備の不具合が出てきた。収蔵庫には空調設備がなく、近年の異常気象が続く中、作品の収蔵環境に不安があり、早急な対策が必要である。
- 【検討方針】 合併特例補助金や公共施設適正管理事業債を活用した改修を実施を検討する。
- 【取組内容】 収蔵庫は合併特例補助を活用し、令和2年度に除加湿器の設置工事を行った。令和3年度には施設全体の空調改修を冬季休館中に実施。加えて、移動式の加湿器4台の導入を合わせて実施した。また、絵画館入口へのアプローチ道(木道)についても修繕を実施した。
令和6年度に大展示室、小展示室及びふれあい館の壁の改修を予定している。

5) 収集・保存事業-3

- 【課題】 近年作品の寄贈の申出が増え、収蔵庫の収蔵率が上昇。今後は収蔵方針を定め、今まで以上に厳選する必要がある。(令和3年度美術品資料選定委員会)
特に現存作家の作品の収集について、方針が決まっていない部分がある。(令和4年度)
- 【検討方針】 収蔵方針について検討する。
- 【取組内容】 収蔵方針素案を策定中。

6) 友の会との協力体制の見直し

【課題】 固定客の確保のために会員の増加を図らなければならないが、会員の固定化、高齢化により今後ますます減少していくことが見込まれる。また、友の会業務と美術館運営業務の混同が見られるため整理が必要。

【検討方針】 会員制度等諸制度の見直しについて、友の会と検討していく。

【検討経過】 絵画館館長と友の会幹事による打合せ、意見交換を行いながら見直しを行っている。令和2年度は友の会主催の「美術サロン」を私の愛する一点展の期間中に開催。友の会会員から登壇者を招き、絵を手にし、観る楽しさを館長とのクロストークを交えて紹介した。コロナ渦ということもあり、なかなか開催が難しくなっているのが現状。友の会の事務は美術館業務と分けて、友の会長野幹事を中心に推進する体制を取っていただいている。(令和3年度)

7) ショップ、喫茶

【課題】 ショップや喫茶は、美術館を訪れる者の楽しみの中であるが、人と予算が限られる中で、十分なサービスの提供の可否が課題である。

【検討方針】 喫茶・物販に関し、外部委託の検討を行う。

8) ボランティア

【課題】 人と予算が限られる中で、サービスの質を落とさず運営を行うためには、美術館に関わる人材を多く生み出すことが課題である。

新たな取り組みを行う際に、今のスタッフの人数ではもたない。また様々な問題が実際動いておらず、館の中でのコミュニケーションが取れていないのでは。

(令和4年度運営委員会三澤委員より)

【検討方針】 ボランティアの育成や活用について他の美術館の事例について研究し、人材確保の課題に向けて検討する。また友の会会員に対する事前内覧会やギャラリートークを開催し、館の企画展の趣旨や内容を理解・共有していただく機会を設け、展覧会の周知や盛り上げに関し共に活動のできる体制の構築を試みる。

9) 博物館登録について

【課題】 博物館登録がなされていないことは、作品の貸借において絵画館に対する他館からの信頼性を欠くこととなり、企画推進の足かせとなる。また、今後登録要件の補助金等が出てくる可能性がある。(令和元年度は博物館登録をしている館に対し、文化庁による博物館クラスター形成支援事業が実施された)

【検討方針】 博物館登録を令和3年度に行う。

【経過】 設立の経過として農業施設という位置づけで補助金を活用し、建設された施設であるため、用途変更等の手続きがあり、長野県地域振興局、長野県生涯学習課等との協議を実施してきた。しかし、農業施設という位置づけで補助金を活用した経過から、建物が耐用年数50年を迎えるまでは、用途変更は難しい状況にある。

10) 美術館の新たな役割

【課題】 文化芸術が一体何ができるのかが問われている時代の中で、もう少し違った文化の役割としての地域の中で何ができるのかということを検討する必要がある。例えば東信の美術だけではない役割の芸術文化にかかわっていくものを所管する機関、そういうところと一緒に連携して何ができるかというのを問いかけていくと、そういうことが市民に対する、また広域に広がっていく、そういうきっかけになっていくのでは。(令和2年度運営委員会保科委員より) 文化というものを美術だけで捉えずに、演劇とか音楽等食も文化ですから、その多様な文化をつなぎ合わせる

必要がある。(令和2年度運営委員会三澤委員より)

【検討方針】 美術館と学校の連携や教育普及の重要性が浸透しつつある中で、現在は学校との一層の連携を模索中。また、ふれあい館における展覧会で地域性や身近なテーマ性を持たせた展覧会を開催し、他分野との連携を実施。

【経過】 11月に学校と美術館をつなぐ教員向け研修会を文化・スポーツ振興課で開催した。またふれあい館で開催した「はらぺこめがねアートワーク展」では、食をテーマに創作活動を行う彼らのアートワークのうち、東御市の食文化に関わる作品という枠でテーマ展示した。その中で市内の畜産業者と食育に関する事業を実施した。(令和3年度)

11) 美術館の新たな役割 (新)

【課題】 今美術をやる若者の数が激減しており、美術館の中に若い世代を入れていくことが喫緊の課題。長野県は自然が豊かであり、そういう自然観を活かしてクリエイティブな能力のある子を育てていく。そういう役割を美術館も考えるべき。(令和3年度運営委員会保科委員より)

風景、公園の景観などの資産を生かして、自然の中にある文化施設であることを強調した展覧会やイベントを作るべき。(令和4年度運営委員会保科委員より)

【検討方針】 自然観や地域の風土を活かした企画や教育普及事業について今後研究する。
長野県の自然を描くために作家が多く入ってくる歴史があり、県の自然と美術制作をつなぐ機会の創出についても検討する。

エ その他

1) Wi-Fiの充実

【課題】 令和2年度、国ではgigaスクール構想の中で、2,300億円を投じ、Wi-Fiの充実を図る事業を実施している。またコロナ渦で美術館の利用ニーズが変わっている中でインフラ整備が重要である。(令和2年度運営委員会三澤委員より)

より世界と繋がっていくこれからの時代において、Wi-Fiが美術館にあることはかなり重要。作品が少ない美術館も、そこにWi-Fiがあればバーチャルな作品を呼んでくることができるため、Wi-Fiの充実を早急に実施すべき。(令和4年度運営委員会三澤委員より)

【検討方針】 性能的な点含め、所管課に確認する。

【検討経過】 美術館では、館内独自のWi-fi整備は完了している。市内においてはSSID認証が必要な1日3回、1回30分のフリーアクセスポイントが東御市役所、湯ノ丸高原、海野宿、田中駅、道の駅「雷電くるみの里」、芸術むら公園に設置。また学校については、全小学校の普通教室、特別教室にアクセスポイントが整備されている。

東御市梅野記念絵画館収蔵品収集方針（案）～昨年度審議案

1 基本的な考え方

当館の収蔵品は、開館時に寄贈を受けた梅野隆のコレクション（以下、梅野コレクションという。）がベースになっている。梅野隆は、生涯を通じて「特異な業績を上げながら忘却されている作家や、不遇な生涯を終えた作家を再評価し、世に知らしめること」を信条にしていた。当館は、初代館長を務めた梅野隆の理念を継承し、運営している。

また、地域の公立美術館として、この地方にゆかりのある作家で、その存在を後世に伝えていく必要のある作家の作品を収蔵する。

2 収集対象

- (1) 基本的に、収集対象を日本近代美術の絵画、彫刻、工芸の作品とする。
- (2) 梅野コレクションの作家の作品で、当該作家の芸術性を理解するうえで重要な作品、またはその全作品を通覧するうえで既存コレクションが欠落している時期の作品。
- (3) 上記理念に基づき開催した展覧会で対象とした作家で、その作家の芸術を語るうえで必要と思われる作品。
- (4) これまで展覧会は開催していないが、梅野隆の理念に沿う作家で、展覧会を開催する可能性のある作家、または残存する作品が少なく展覧会を開催できないが、貴重であり散逸の危険性を回避するために収集の必要性のある作家の作品。
- (5) 東御市が所在する長野県東信地方の美術史を語るうえで必要な作家で、美術館が収蔵するに相応しいレベルの作品。
- (6) 上記のいずれにも該当しないが、日本近代美術史に既にその存在が位置づけられている作家で、その作家の全作品のなかでも中位以上の作品。

3 審査

上記の収集対象となった作品は、東御市総合交流促進施設（梅野記念絵画館・ふれあい館）運営委員会で審議され、了承されたうえで、東御市美術品取得審査委員会を経て収蔵が決定される。

東御市梅野記念絵画館収蔵品収集方針（案）

1 基本的な考え方

当館の収蔵品は、開館時に寄贈を受けた梅野隆のコレクション（以下、梅野コレクションという。）がベースになっている。梅野隆は、生涯を通じて「特異な業績を上げながら忘却されている作家や、不遇な生涯を終えた作家を再評価し、世に知らしめること」を信条にしていた。当館は、初代館長を務めた梅野隆の理念を継承し、運営している。

また、地域の公立美術館として、この地方にゆかりのある作家で、その存在を後世に伝えていく必要のある作家の作品を収蔵する。

2 収集対象

- (1) 原則として、収集対象を日本及び世界の近代美術作品とする。
- (2) 梅野コレクションの作家の作品で、当該作家の芸術性を理解するうえで重要な作品、またはその全作品を通覧するうえで既存コレクションが欠落している時期の作品。
- (3) 上記理念に基づき開催した展覧会で対象とした作家で、その作家の芸術を語るうえで必要と思われる作品。
- (4) これまで展覧会は開催していないが、梅野隆の理念に沿う作家で、展覧会を開催する可能性のある作家、または残存する作品が少なく展覧会を開催できないが、貴重であり散逸の危険性を回避するために収集の必要性のある作家の作品。
- (5) 東御市が所在する長野県東信地方の美術史を語るうえで必要な作家で、美術館が収蔵するに相応しいレベルの作品。
- (6) 上記のいずれにも該当しないが、日本近代美術史に既にその存在が位置づけられている作家で、収蔵が相応しいと考える作品。

3 審査

上記の収集対象となった作品は、東御市総合交流促進施設（梅野記念絵画館・ふれあい館）運営委員会で審議され、了承されたうえで、東御市美術品取得審査委員会を経て収蔵が決定される。

(1) 令和5年度取得作品(案)について

No.	題名 / 作家	年代	技法	サイズ	写真	寄贈者	備考
1	壁の詩	1964	油彩	6号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	31.8×41.0			
2	無題1	1960	油彩	4号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	24.3×33.4			
3	モニュメント	1984	油彩	12号 M		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	40.9×60.6			
4	二つの形2	不明	油彩	12号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	50.0×60.6			
5	赤の浸食	1999	油彩	25号 P		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	60.6×80.3			
6	刻印	1999	油彩	30号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	72.8×91.0			
7	埋没する相2	不明	油彩	50号 P		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	116.7×80.3			

(1) 令和5年度取得作品(案)について

No.	題名 / 作家	年代	技法	サイズ	写真	寄贈者	備考
8	カオス1	2000	油彩	50号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	90.9×116.7			
9	埋没する相1	1993	油彩	60号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	97×130.3			
10	恣意空間	1992	油彩	60号 P		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	130.3×89.41			
11	とりとめのない空間	不明	油彩	20号 F	画像無し	中村美智子	
	河野扶		キャンバス	72.7×60.6			
12	気流	2001	油彩	100号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	130.3×162.1			
13	遠い町	2013	彫刻			伊津野雄二	2017年 伊津野雄二展
	伊津野雄二		松、楠	196×70×65			

令和6年度 東御市総合交流促進施設事業計画

《 事業予定表 》

月	常設展	大展示室	ふれあい館	ホール
4月	3月11日～5月10日 展示室壁改修のため休館			
5月	梅野コレクション展Ⅰ	5月11日～7月14日 館所蔵品精選展	5月11日～7月14日 佐藤文音展「ふしぎな日常・ある非日常」(仮)	
6月				
7月	7月15日～7月26日 大展示室展示替のため休館			
8月	梅野コレクション展Ⅰ	7月27日～9月1日 第23回私の愛する一点展	7月27日～9月1日 杉雅司展(仮)	
9月	9月2日～9月13日 大展示室展示替のため休館			
10月	梅野コレクション展Ⅱ	9月14日～11月24日 東御の刀鍛冶—山浦真雄・源清麿・宮入法廣—展(仮)	9月14日～10月20日 東信濃工芸作家展 vol.09	
			10月20日～11月24日 市民ギャラリー	
11月	11月25日～12月6日 大展示室展示替のため休館			
12月	梅野コレクション展Ⅱ	次回企画展準備	12月7日～12月29日 市民ギャラリー	
	年末年始休館			
1月	1月4日～1月10日 大展示室展示替のため休館			
2月	梅野コレクション展Ⅲ	1月18日～3月23日 梅野コレクションより探る、 杉浦非水展(仮)	1月18日～3月23日 市民ギャラリー	
3月				
3月24日～4月11日 次年度企画展準備				

「令和6年度事業計画（案）個別企画について」

ア 大展示室

企画展 「館所蔵品精選展」

- 1) 会 期 令和6年5月11日（土）～令和6年7月14日（日）
- 2) 入 館 料 500円
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 概 要 梅野記念絵画館では、梅野コレクションや郷土ゆかりの作家で構成された倉沢コレクションを中心にその所蔵作品数は約1,000点を超えます。本展では、当館コレクションの中から、それらコレクション作品をはじめ、展覧会を機にご寄贈いただいた作品を含む約60点を精選して紹介します。

「第23回私の愛する一点展」

- 1) 会 期 令和6年7月27日（土）～令和6年9月1日（日）
- 2) 入 館 料 300円
- 3) 主 催 梅野記念絵画館友の会
- 4) 概 要 絵画館を支える友の会の会員が一人につき一点を作品に関するエピソードや思いをつけて展示する企画。観覧者による人気作品の投票や優秀者への賞の進呈などを行います。

特別企画展 「東御の刀鍛冶—山浦真雄・源清麿・宮入法廣—展」（仮）

- 1) 会 期 令和6年9月14日（土）～令和6年11月24日（日）
- 2) 入 館 料 800円（予定）
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 概 要 東御市の企画展「東御の刀鍛冶—山浦真雄・源清麿・宮入法廣—」は、江戸末期に活躍した東御市滋野出身の山浦真雄・源清麿（山浦環）の山浦兄弟と現在東御市八重原に鍛錬場を構え作刀する宮入法廣ら東御市ゆかりの刀工をテーマとした展覧会です。

山浦真雄・源清麿（山浦環）の山浦兄弟は、小県郡赤岩村の名主（郷士）のもとに生まれました。真雄は源清麿と共に上田藩工河村寿隆に学び、その後は小諸藩の藩工となり、上田城下に移り作刀、さらに松代藩真田幸貫に招かれ藩工となります。弟清麿は上田藩工河村寿隆に学んだ後、江戸に出て幕臣窪田清音に師事しました。のち四谷伊賀町稻荷横丁（現在の三栄町辺り）に住み、名を源清麿と改めて、名刀を打ち出しました。人は四谷正宗と呼び水心子正秀とその弟子「大慶直胤」（たいけいなおたね）と共に、「江戸三作」のひとりに列せられています。

宮入法廣は1954年に長野県坂城町で生まれました。國學院大学文学部を卒業後、重要無形文化財保持者である「隅谷正峯」（すみたにまさみね）に師事しました。正峯の下で5年、父の「宮入清宗」（みやいりきよむね）の下で9年修行を積んだのち、東御市に鍛錬場を設立、2011年に長野県無形文化財保持者に認定されました。宮入一門は代々五箇伝のうち相州伝をもとにしていましたが、法廣が師事した正峯は備前伝をもとにしており、「隅谷丁子」（すみたにちょうじ）と呼ばれる独自の美しい丁子刃文を生み出し、流派に縛られない刀工として知られています。本企画展では東御市ゆかりのそれぞれの刀工にスポットをあて、その魅力と人気を探ります。

- 5) 関 連 事 業 9月14日（土）オープニングレセプション

企画展 「梅野コレクションより探る、杉浦非水展」（仮）

- 1) 会 期 令和7年1月18日（土）～令和7年3月23日（日）
- 2) 入 館 料 300円（予定）
- 3) 主 催 梅野記念絵画館

- 4) 後援 各メディア
- 5) 概要 杉浦非水は1876年愛媛県に生まれます。1897年に東京美術学校を卒業、同年に黒田清輝がパリから持ち帰ったアールヌーボーの資料に強く影響を受けます。その後、日本のグラフィックデザインの草分けとして、雑誌の表紙やポスターのデザインを手がけます。研究誌の創刊や図案研究団体「七人社」を結成するなど、グラフィックデザイナーの先駆けとして日本の商業デザインの確立に大きく寄与することとなりました。杉浦非水の創作するアールデコスタイルを基調としたデザインは、人々の身近な生活の中に彩りを加え、多くの人々を魅了してきました。

梅野隆は1975年に京都の星野画廊にて杉浦非水作品と出会い、図案の美しさを深く味わったといいます。以来梅野コレクションに非水作品が加わることとなり、現在当館には55点が所蔵されています。しかし、所蔵品の中には「伝」杉浦非水作として、未だその真贋が不明な作品もみられます。そこで改めて、梅野コレクションにおける非水作とされている作品を調査し、当作品がどのような経緯で価値を見出され、いかにして梅野コレクションとなったのか、梅野コレクションの歴史の視点から作品に迫り、作家の描いたとされる当館所蔵の珠玉の作品を展示いたします。

6) 作品画像



「氷菓」



「天の川」



「流星」

いずれも制作年不明

イ ふれあい館

企画展 佐藤文音展「ふしぎな日常・ある非日常」(仮)

- 1) 会期 令和6年5月11日(土)～令和6年7月14日(日)
- 2) 入館料 500円
- 3) 主催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 協力 佐藤文音
- 5) 概要 版画家、絵本作家として活動し、多様な表現を用いてメランコリックに動物を描き出す佐藤文音氏の展覧会を開催します。佐藤氏は、日常の中に潜むちょっとした歪みを描き出し、ささやかな非日常を表現します。
佐藤文音氏は、2018年にポローニャ国際絵本原画展に入選し、「ふしぎなニャーチカ」、「寶石少女」などの絵本を刊行しました。作家のリトグラフによるノスタルジックな表現は、どこか親しみやすくも非現実的な世界観を創出します。
絵本原画や版画の動物たちの世界を通して、リトグラフ表現の面白さや絵本文化に触れるきっかけを提供し、美術館での作品鑑賞の導入となることを狙います。

- 6) 関連事業 リトグラフワークショップ 等

7) 作品画像



「杉雅司展」(仮)

- 1) 会 期 令和6年7月27日(土)～令和6年9月1日(日)
- 2) 入 館 料 300円
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 概 要

昭和21(1946)年に愛媛県宇和島に生まれ、昭和43(1968)年に武蔵野美術短大を中退した杉雅司は、様々な仕事に就きながら制作を続け、東京都、埼玉県、長野県、山梨県で個展を開催してきました。平成14(2002)年に所属する美術団体からも離れ、平成20(2008)年からは山梨県長坂町(現在の北杜市)に移住し現在に至ります。

杉雅司は、しばしばリュートやリコーダーといった古楽器を演奏する人物を描くが、そうした作品群は17・18世紀のバロック期の荘厳な雰囲気を漂わせています。

5) 作品画像



奏でる人



安らぎ



星の詩

「東信濃工芸作家展 vol.09」(同時開催 火のアートフェスティバル)

- 1) 会 期 令和6年9月14日(土)～令和6年10月20日(日)
- 2) 入 館 料 無料
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 協 力 角りわ子
- 5) 概 要

市内在住の陶芸作家角りわ子氏を中心に、地元を拠点に活動する作家の存在や作品を知ってもらおうと始まった展覧会です。令和5年度と同様、火のアートフェスティバルの開催時期に合わせることで、工芸のお祭りの一体感の醸成に寄与することをねらいとし、多くの方々に鑑賞いただく機会を作ります。

- 6) 関連事業 ワークショップ、火のアートフェスティバルでの作家作品の販売等

令和7年度以降 東御市総合交流促進施設事業計画（案）

《 事業予定表 》

月	常設展	大展示室	ふれあい館	ホール
4月		絵画館コレクション展	子ども向け企画展 ・ 佐藤江未展影アート ・ kawada工業展 ・ 富田菜摘×日本廃品打楽器協会展 ・ 柴田ケイコ展 ・ 藤井蓮展 ・ 樋口朋巳展	
5月				
6月				
7月		第〇回私の愛する一点展	貸館	
8月		特別企画展 ・ 近藤光紀展 ・ 梅野隆生誕100年展 (2026年) ・ 小林邦二展2026 (誕110) ・ わたなべゆう展 ・ 荒井龍男展 ・ 藤井令太郎×田中岑 ・ 金光珠展 ・ 田村泰二展 ・ 森田勝展 ・ 後藤禎二展 ・ 相吉沢久展 ・ 酒井亜人展 ・ 西田勝展	東信濃工芸作家展	
9月				
10月				
11月			貸館	
12月	収蔵庫整理期間			
1月				
2月		地域作家及び主要所蔵作家研究企画展 ・ 佐藤利平展 ・ 相吉沢久展 ・ 酒井亜人展	貸館	
3月				